

令和5年度第2回茅ヶ崎市社会教育委員の会議定例会会議録

議題	(1) 建議書の決定について (2) その他
日時	令和6年2月22日(木) 10:00~11:47
場所	茅ヶ崎市役所分庁舎5階 D会議室
出席者氏名	(委員) 議長：吉原 弘子 副議長：都 浩一 渡邊 千奈、鈴木 志津江、加藤 盛朗、沼上 純子、 岡本 加珠美、深井 孝一、益田 和子 (欠席委員) 山本 珠美 (事務局) [社会教育課] 伊勢田課長、内海課長補佐、木村主任、 栗原 (会計年度任用職員)
会議資料	・ 次第 ・ 資料1 建議書 (案)
会議の公開・非公開	公開
非公開の理由	
傍聴者数	0人

(会議の記録)

○伊勢田社会教育課長
(開会のあいさつ)

○伊勢田社会教育課長
それでは、ここからは吉原議長に進行をお願いいたします。

○吉原議長

改めまして、こんにちは。ただいまから、令和5年度社会教育委員の会議の第2回定例会を開催いたします。今日は今年度最後の定例会となりますので、皆さんから色々な御意見をいただきまとめていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

会議録につきましては、事務局にて案を作成し、各委員に御確認いただいたうえで決定し公開となります。それでは始めに、配布された資料等につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局

具体的な資料の説明は後程させていただきますが、前回の10月の臨時会の際に、委員の皆様から「提言書」として提出することについて様々な御意見をいただきました。起草委員会でも協議し、将来の行為について委員の皆様から意見や希望を述べるという意味合いの「建議書」というかたちでまとめていくということになりましたので、御了承いただければと思います。

○吉原議長

ありがとうございます。ただいま事務局から配布資料と建議書についての説明をいただきました。今回は提言書ではなく建議書として提出するという事で御了承いただけますでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。では建議書の作成ということで進めさせていただきたいと思っております。本日は最終的な内容を決定させていただきたいと思っております。この後会議等で皆様にお諮りする時間はございませんので、この場でできるものは修正させていただき、確認を要する点については、事務局でまとめていただくということによりよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。それでは、事務局より「資料1 建議書(案)」について説明をお願いします。

○事務局

それでは、事務局より「資料1 建議書(案)」について御説明いたします。こちらは

10月の臨時会において皆様から御意見をいただき、11月と1月に起草委員会を開催いたしまして、そこで改めて検討をして反映させたものとなっております。10月の臨時会からの主な修正点について、簡単に御説明をさせていただきます。まず、先程申し上げた通り、表紙のタイトルを「建議書」というかたちで修正をさせていただきました。そして、「地域学校協働活動の推進について」というところが仮のタイトルだったのですが、「推進に向けて」と変更させていただいております。本編についてですが、2ページ目の「はじめに」のところに、吉原議長に作成いただいた文章を掲載させていただきました。3ページ目ですが、10月の臨時会の中で、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を両輪で進めていくということがわかるような記載資料にすべきという御意見をいただきまして、文部科学省が作成した「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として」というイメージ図を入れております。7ページ目の表「神奈川県内における学校運営協議会制度及び地域学校協働活動の実施・導入状況」の表についてです。上から11番目に茅ヶ崎市があるのですが、それを太字、太枠で強調しつつ、茅ヶ崎市のデータについては、令和6年2月時点の直近のものに修正をさせていただいております。またその旨を、表の一番下にかっこ書きで（茅ヶ崎市のデータのみ令和5年度2月時点のものを使用）と記載しております。ただ「令和5年度2月時点」との記載では、少しわかりにくいので、後程、「令和6年2月時点」と修正させていただきます。8ページ目も、3ページ目と同様に、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を両輪で進めていくということ踏まえて、「コミュニティ・スクール導入（予定）状況」というグラフを入れております。10月の臨時会の際には、9ページ目の表のタイトルを「地域と学校が連携した活動一覧」としておりましたが、今回ここに記載した活動については、市内の全ての活動を網羅したものではなく、今年度実施した社会教育委員の皆様や茅ヶ崎市PTA連絡協議会の皆様を対象に行った調査結果を掲載しているのです。そのようなことが理解できるタイトルとして「活動の一例」と修正をさせていただき、枠外に※印で「この情報は一例で、集まった調査結果を元にまとめたものです。」という記載を追記させていただいております。10ページ目の、「特色のある活動」に主な活動を4つ載せていますが、許諾を得たものについては写真を入れさせていただきました。そして11ページ目の、項番Ⅱのタイトルを「茅ヶ崎市における今後のあり方」から「茅ヶ崎市における地域学校協働活動の今後について」ということで記載を変更し、【社会教育委員の意見】ということで、10月の臨時会で皆様からいただいた意見を7点記載させていただきました。13ページに結びとして「学校関係の立場から今後を見据えて」ということで、都副議長に作成いただいた原稿を掲載させていただきました。事務局からの主な修正点の説明については以上になります。

○吉原議長

ありがとうございました。ただいま事務局から説明をいただきましたが、皆さん何か質問や意見等ございましたらお願いします。

○沼上委員

起草委員の皆様には感謝申し上げます。特に渡邊委員と岡本委員については、現場の声が反映できればということで私が起草委員に推薦してしまったのですが、お二人とも好意的に受けてくださって、本当にありがとうございました。

○吉原議長

現在PTAの中で活動されているお二人に起草委員に参加いただき、とても助けていただきました。他に何かございますか。

○益田委員

建議書(案)9ページの表にある「子ども大会」の記載にある「全学校区で」という表記を「全小学校区で」との表記にしたほうが、より明確なように感じます。また、その後続く「地区ごとに」という表記は「学区ごとに」としたほうが間違いないかなと思いました。

○事務局

ありがとうございます。事務局で修正させていただきます。

○吉原議長

全くご存じのない方が見られても、きちんと理解していただけるようなかたちにしたいと思います。ありがとうございます。他に何かございますか。

○深井委員

今の「子ども大会」の記載の中に「ドッチボール」とあるのですが、「ドッチボール」の「ヂ」は「ジ」の誤りだと思います。

○事務局

失礼いたしました。修正させていただきます。

○深井委員

他に、句読点の位置が気になるのは、3ページ目「1 地域と学校の連携、経緯、背景」の上から3行目「貧困などをはじめ子どもを取り巻く問題が」とある文章の「貧困などをはじめ」の後に読点をいれ、「貧困などをはじめ、子どもを取り巻く問題が」としたほうがよいかと思います。

○吉原議長

ありがとうございます。書き方の体裁等も含めて、何かありましたらお願いします。

○鈴木委員

先程「子ども大会」の記載の中で、「全小学校区」との表記にしたほうがより明確なお話がありましたが、円蔵では中学生も参加して子ども大会を行っています、いかがでしょうか。

○益田委員

「子ども大会」は19の小学校区にある青少年育成推進協議会が委託を受けて、地域の中学生や高校生や大人たちも参加しているのですが、開かれるのは茅ヶ崎市内の19の全小学校区となっています。

○吉原議長

事業そのものが、青少年育成推進協議会に委託されているかたちですね。

○鈴木委員

説明をお伺いして理解いたしました。

○渡邊委員

「子ども大会」の「実施方法等」の記載に「こども会」とありますが、漢字の「子」を使った「子ども会」と表記することが多いように思います。

○事務局

失礼いたしました。修正させていただきます。

○加藤委員

私は幼稚園協会代表としてこの会議に出席していますが、茅ヶ崎市の教育基本計画の歴

史をたどると、かつては幼児教育・学校教育・成人教育・生涯教育という4本柱がありました。10ページの「特色ある活動」には、小学校・中学校・高校の活動が取り上げられていますが、そのような歴史を踏まえると、ここに幼稚園の活動が出ていないというのは寂しく感じます。地域の老人ホームと敬老の日に交流会をしているという幼稚園もありますので、幼稚園と公民館の活動例も是非掲載してほしいと思います。

また、9ページに活動一例の表がありますが、表内の活動対象をより正確に表すために「園児」「児童」「生徒」との表記にしてほしいと思います。

○吉原委員

子ども大会もそうですが、様々なことで「幼稚園」も地域と連携していますね。表記の修正と幼稚園と地域のつながりについての意見を入れるよう、事務局の方で調整いただいてもよろしいでしょうか。

○事務局

承知いたしました。追記・修正させていただきます。

○沼上委員

建議書に記載していく中で、現在では「幼稚園」「保育園」「認定子ども園」等様々な固有名詞が出てくると思うのですが、実際どのように記載していけばいいか、とても難しいと考えておりますがいかがでしょうか。

○加藤委員

おっしゃるとおり様々な形があり、複雑化しておりますが、ここでの表現としては「幼稚園」でよいと思います。

○吉原委員

ありがとうございました。その他、皆様から何かございますでしょうか。

(異議なし)

○吉原委員

それでは、御意見御質問等がないようですので、本日お手元にある建議書「地域学校協働活動の推進に向けて」について、今回出た意見を事務局で加筆・修正いただき、教育委員会へ提出いたします。

続きまして、建議書の教育委員会への提出の方法について、事務局へお伺いいたします。

○事務局

一つの案として、約2年前に作成した答申と同様の方法で、委員全員ではなく、代表して議長から教育長へお渡しいただく形でいかがでしょうか。

○吉原委員

ただいま事務局から説明いただきましたように、提出については皆様を代表して私が教育長へお渡しするという事でよろしいでしょうか。

(異議なし)

○吉原委員

ありがとうございます。それでは事務局で日程調整をお願いいたします。

この建議書の発行については、公民館運営審議会委員、市議会議員、教育委員会内各課、学校、近隣市、県等にも提出をさせていただき、またホームページでも公開させていただきます。印刷については、事務局の方でよろしくをお願いいたします。

議題1については、これで終了といたします。

それでは、議題2に入ります。各委員から、何か報告はございますでしょうか。

○沼上委員

1月27日に開成町で開催された「令和5年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会」に出席しました。

今回のテーマは「本の良さを知り、本に戻れる環境づくり」となっておりました。図書館以外でも地域のまちづくりに「本」が入り込んでおり、幅広い年齢層の方が本に親しんで、本を通して交流していると感じました。

○吉原委員

報告ありがとうございます。ただいま開成町の地区研究会の報告がありましたので、続いて寒川町の地区研究会の報告を、鈴木委員、益田委員をお願いいたします。

○鈴木委員

寒川の地区研究会は3部構成となっており、人権講和として「ひきこもり・不登校の悩

み-地域でつながる・よりそう・認め合う」、公民館部会から「すべての世代が集う公民館をめざして」、図書館部会から「本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために～総合図書館を拠点とした子どもの読書活動支援～」について話を伺いました。

○益田委員

図書館部会からの事例発表があった「寒川ジュニア司書制度」がとても良いと思いました。実際に子どもたちがジュニア司書として図書館業務を行っているを知り、活動として素晴らしいと感じましたので、茅ヶ崎市でも取り入れることができたらと思いました。

○吉原議長

ありがとうございました。

私の方で、青少年問題協議会や県の社会教育委員連絡協議会の理事会、博物館協議会等に参加しておりますが、本日以降に会議が開催されるため、また4月の定例会にて報告させていただきます。

また次年度の会議開催につきましては、事務局の方から御連絡させていただきます。

○事務局

次年度の予定につきまして、今年度と同じく定例会2回、臨時会1回の開催を予定しています。詳細についてはまた別途御連絡させていただきます。

○吉原委員

ありがとうございました。それでは本日の議題につきましてはすべて終了しましたので、皆様、長時間に渡りありがとうございました。それでは、事務局に進行をお戻しいたします。

○伊勢田社会教育課長

それではこれもちまして、令和5年度第2回社会教育委員の会議定例会を閉会といたします。ありがとうございました。

以上